

令和元年 7 月 1 0 日

呼子市民センター

小友祇園祭について

概要

祇園山笠は、高さが15m、重さは3トンもあり、八坂神社での疫病除け・五穀豊穰・大漁祈願のあと、若者約50人が4本の大棒で担ぎあげ、地区内を勇ましく担ぎ廻ったのち、海中へと入っていきます。

1 日 時

(1) 令和元年 7 月 1 6 日 (火曜日)

午後 2 時頃～ 八坂神社での疫病除け・五穀豊穰・大漁祈願のあと、地区内を勇ましく担ぎ廻ります。

午後 3 時前後 ハイライトである海中へと入っていきます。
約 3 0 分間にわたり海中を練り歩き海を渡ります。

(2) 令和元年 7 月 1 7 日 (水曜日)

午前 3 時頃～ 御神燈をつけ、地区内を担ぎ廻ります。

午後 2 時頃～ 八坂神社での安全祈願のあと、地区内を勇ましく担ぎ廻ります。

午後 3 時前後 ハイライトである海中へと入っていきます。
約 3 0 分間にわたり海中を練り歩き海を渡ります。

※注意：時間は、当日の潮汐により前後することがあります。

2 場 所

唐津市呼子町小友地区

3 その他

万治元年（1658年）に流行したコレラの悪疫退散を祈願して、笠竹に御幣をつけて地区内を練り廻ったものが自然と現在のような祇園山笠になったと伝えられています。

(本件の問い合わせ先)

呼子市民センター産業・教育課

担当：濱口、山口

電話：直通 0955-53-7165（内線 5612）